

平成 29 年 5 月

各 位

一般財団法人 持続性推進機構 (IPSuS)
エコアクション 21 中央事務局
事務局長 森下 研

エコアクション 21 認証・登録制度
「平成 29 年度 関係企業グリーン化プログラム」のご案内

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また、日頃、エコアクション 21 認証・登録制度につきまして、ご理解、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

一般財団法人持続性推進機構エコアクション 21 中央事務局は、環境省が策定した「エコアクション 21 ガイドライン」に基づき、2004 年度よりエコアクション 21 認証・登録制度に係る事業を実施してまいりました。制度の開始以来、7,800 を超える事業者様を認証・登録させていただき、現在では、中小事業者を主な対象とする我が国を代表する環境認証・登録制度として、一定の社会的な認知を受けております。これも皆様のご協力のお陰と厚く御礼申し上げます。

エコアクション 21 認証・登録制度は、次のような特徴があります。

- ①中小規模の事業者でも容易に取り組める環境マネジメントシステム
- ②二酸化炭素・廃棄物などの排出量削減の具体的な取組ができ、その結果エネルギーコストなどの削減が可能
- ③環境活動レポートを作成・公表することにより、社会・顧客とのコミュニケーションが図れる
また、国の環境基本計画、21 世紀環境立国戦略等にも位置付けられている制度です (別添参照)。

今般、ご案内する「平成 29 年度関係企業グリーン化プログラム」は、中核となる企業・団体の呼びかけにより、サプライチェーンマネジメント等における関係する事業者の中で、エコアクション 21 の認証・登録を目指す事業者を募り、エコアクション 21 地域事務局が運営する勉強会に参加し講師である審査人の支援を受けることで、より多くの関係する事業者が短時間で効率よくエコアクション 21 の認証取得を目指す普及プログラムです。

中核となる企業・団体の皆様方におかれましては、サプライチェーンマネジメント等における、お取引先企業様等への環境への取組の支援策としても有効です。

このプログラムの実施に要する費用 (審査人の勉強会講師代など) は、エコアクション 21 中央事務局が負担させていただきます。

本プログラムに関するお問い合わせは、下記の中央事務局またはお近くの地域事務局宛にお願いいたします。

エコアクション 21 認証・登録制度については、<http://www.ea21.jp> で公表しております。

※これまでのプログラム参加企業・団体名については、上記中央事務局ホームページ「関係企業グリーン化プログラム」を参照ください。

敬具

〔問合せ先〕 エコアクション 21 中央事務局
(一般財団法人持続性推進機構)
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 2-14-18-4F
電話 : 03-6418-0370
Email : info@ea21.jp

エコアクション 2 1 認証・登録制度
「平成 29 年度 関係企業グリーン化プログラム」実施要領

一般財団法人 持続性推進機構 (IPSuS)
エコアクション 2 1 中央事務局

1. 趣旨・目的

エコアクション 2 1 認証・登録制度の普及促進の一環として、中核となる企業・団体のイニシアティブのもと、サプライチェーンマネジメント (SCM) 等における関係する事業者が一斉にエコアクション 2 1 に取り組むことにより、SCM 全体の二酸化炭素などの排出量削減、エネルギーコストなどの削減を実現し、併せて「環境経営」の証が得られる仕組みを「関係企業グリーン化プログラム」(以下、「プログラム」という。)として展開します。

中核となる企業がその SCM 等において、または組合や商工会議所等の団体が会員企業に対して、エコアクション 2 1 認証・登録制度を、関係する事業者の二酸化炭素排出量削減などの取組を支援するための有効な手段として積極的に活用することにより、エコアクション 2 1 の普及を図るものです。

注：プログラムの対象となる「関係企業」は、中核となる企業の協力会社、取引先、子会社、販売代理店等が考えられ、業務上関係する事業者を指します。但し、自らの支店、営業所は「関係企業」に該当しません。また、地域の公益法人 (商工会、商工会議所等) や組合などが、会員企業を対象に実施することもできます。

2. プログラムの概要

エコアクション 2 1 中央事務局 (以下、「中央事務局」という。) はエコアクション 2 1 地域事務局 (以下、「地域事務局」という。) の協力を得て、実施する中核企業・団体にエコアクション 2 1 審査人 (以下、「審査人」という。) を派遣し、5 以上の参加事業者に、集合形式の勉強会を 4~5 回程度開催し、エコアクション 2 1 認証取得までの取り組みを支援します。参加事業者は審査人の支援のもと、一斉にエコアクション 2 1 の取り組みを実施します。審査人の派遣などプログラム実施に要する費用は、中央事務局が負担します。参加事業者は、約半年後には、認証・登録のための審査を受け、適合が確認されると認証を取得することができます。

3. 実施する中核企業・団体の募集

(1) 実施する中核企業・団体の要件など

ア SCM 等の関係する事業者の二酸化炭素排出量削減等の取組への支援として、エコアクション 2 1 認証・登録制度を有効なツールとして活用する中核企業・団体であって、平成 29 年度内に、5 以上の関係する事業者が本プログラムに参加し、エコアクション 2 1 に一斉に取り組むことが確実な中核企業・団体であること。

なお、エコアクション 2 1 地域事務局またはその母体組織・団体は、本プログラムの中核企業・団体になることはできません。

イ プログラムは地域事務局との協力のもと実施するので、応募検討の段階からお近くの地域事

務局または中央事務局にご相談ください。

ウ 中核企業・団体は、5以上の事業者を確保します。

エ 実施する中核企業・団体自身がエコアクション21または第三者認証を取得しているかどうかは問いませんが、自身もエコアクション21に取り組むことで、関係する事業者に対してより効果的に推進を図ることができると考えられます。

オ プログラムに参加した事業者が認証・登録する場合、認証・登録の手続き、審査費用、認証・登録料について、プログラムに参加しない事業者との間に、差異はありません。

(2) 募集期限

29年度の実施する中核企業・団体の募集は、29年12月末日までとします。

(3) 応募方法

募集期限までに、以下の書類を中央事務局に提出してください。

- ① 実施申込書（様式1）
- ② プログラムに参加することが概ね確実な事業者のリスト（所定の様式を使用）
（事業者名、住所、業種、従業員数等）

※参加事業者が5事業者に満たない場合、または、実施申込書の提出が12月末日を過ぎることが予想される場合は、中央事務局へご相談ください。

4. プログラムの実施方法及び認証・登録までのスケジュール等

(1) プログラム実施の決定及び事業者説明会の開催

中核企業・団体は、プログラムの実施を決定し、地域の地域事務局と協働で、エコアクション21の認証取得を希望する関係事業者を広く募り、プログラムの説明会を開催します。

(2) プログラム参加事業者の確定及びプログラム実施の申込

中核企業・団体は、説明会の開催等によりプログラムに参加する事業者を5事業者以上確定し、その事業者リストを添えて、実施申込書（様式1）により中央事務局へプログラムの実施を申し込みます。

(3) 勉強会の開催

① 集合形式の勉強会の開催

中核企業・団体は地域事務局と協力し、審査人を講師として集合形式の勉強会を開催し、参加事業者のエコアクション21認証取得までを支援します。勉強会は、少人数のグループに分かれて、認証取得までに計4回～5回程度実施します。審査人の講師費用は、中央事務局が負担します。

勉強会では、エコアクション21ガイドラインに基づき、環境負荷把握・環境への取組チェック、環境方針策定、環境目標設定・環境活動計画策定、環境関連法規の取りまとめ等の必要な項目について、講師の審査人のアドバイス及び支援を受けながら、参加事業者が段階的に取り組み、環境マネジメントシステムを構築していきます。

② 「環境活動レポート」の作成

参加事業者は、審査人のアドバイス及び支援のもと、環境マネジメントシステムを構築・運用し、自らが定めた環境活動計画等に基づき3ヶ月程度取り組み、取組に関する評価及び見直しを

行います。そして、その結果を取りまとめて環境活動レポートを作成します。

(4) エコアクション21登録審査の申込み及び受審

参加事業者は、環境マネジメントシステムを3ヶ月程度運用し、結果を取りまとめて環境活動レポートを作成した後、担当地域事務局へ認証・登録のための登録審査の申込みを行います。そして、担当地域事務局が選任した担当審査人による審査を受けます（勉強会の講師とは別の審査人になります）。

(5) エコアクション21認証・登録

登録審査が終わると、審査人が作成した審査報告書等に基づき、担当地域事務局の地域事務局判定委員会でその内容を審議し、その結果を中央事務局へ送ります。中央事務局では、地域事務局から送られてきた審議結果及び審査報告書等をもとに中央事務局判定委員会で審議を行い、ガイドラインに適合しているかどうかの判定を行います。審議の結果、ガイドラインに適合していると判定された事業者は、認証・登録の手続きに入ります。必要な手続きが終わると中央事務局から事業者へ、認証・登録証が発行されます。

5. プログラム実施報告書の提出

実施中核企業・団体は、30年2月末を目途に、プログラム実施報告書（様式2）を一般財団法人持続性推進機構エコアクション21中央事務局にご提出ください。

6. 実施にあたっての留意事項

- ①中央事務局が負担するプログラム実施の費用は、派遣するエコアクション21審査人謝金、旅費、資料代、及びやむをえない事情により中核企業・団体の施設を利用できない場合の会場費で、実際の運営を担当する地域事務局と中央事務局が請負契約を締結し、負担します。
- ②但し、中央事務局が負担するプログラム実施の費用は、最終的に認証・登録した事業者数等を基に算出します。従って認証・登録事業者数によっては、全ての費用を負担できない場合があることを予めご承知おきください。
- ③全体説明会、4回～5回程度の勉強会は、原則として全て集合形式（セミナー形式）により実施します。会場の手配については、特段のご協力をお願いいたします。また、中核企業・団体の担当者の方のご参加をお願いいたします。
- ④全体説明会の際に、エコアクション21に関して、認証・登録に向けて必要となる作業や取組、審査や認証・登録（費用面も含む）について十分に説明を行う予定ですが、事業者が十分な社内合意等を得ずに参加したり、自らは何ら作業や取組をしなくてもプログラムに参加すれば認証を取得できると誤解して参加することがないように、また、プログラムの途中で参加を取りやめる事業者がでないよう、中核企業・団体の側からも、途中で諦めずに、認証取得まで努力するよう働きかけをお願いします。
- ⑤プログラムの実施にあたり、担当する地域事務局と十分な協議、協力の上、実施されるようお願いいたします。
- ⑥その他ご不明な点は、エコアクション21中央事務局までお問い合わせください。

エコアクション21中央事務局（一般財団法人 持続性推進機構（IPSuS））

電話：03-6418-0370 FAX：03-6418-0380

Email：info@ea21.jp

エコアクション21の環境政策上の位置付け

エコアクション21は、政府の様々な計画の中で持続可能な社会を構築していくうえでの重要な施策の一つとして、位置付けられています。

■環境基本計画―環境から拓く 新たなゆたかさへの道― (平成18年4月7日閣議決定)

第二部 今四半世紀における環境政策の具体的な展開

第1章 重点分野ごとの環境政策の展開

第7節 市場において環境の価値が積極的に評価される仕組みづくり

重点的取組事項 「事業者の環境配慮体制の整備」

『環境マネジメントシステムの幅広い事業者への普及を図ります。特に取組の遅れている中小事業者における環境配慮型経営を推進するため、ISO14001 の他、中小事業者向けの環境マネジメントシステムであるエコアクション21の普及促進を図ります。』

■21世紀環境立国戦略 (平成19年6月1日閣議決定)

3. 今後1、2年で重点的に着手すべき八つの戦略

戦略8 環境立国を支える仕組みづくり

事業者の適切な環境管理の推進

『エコアクション21を活用し、業種特性に対応しつつ中小企業における環境管理を促進する』

■環境情報の提供の促進等による特定事業者等の環境に配慮した事業活動の促進に関する法律 (環境配慮促進法) (平成17年4月1日施行)

第11条2項において、「国は、中小企業者がその事業活動に係る環境配慮等の状況の公表を容易に行うことができるようにするため、その公表の方法に関する情報の提供その他の必要な措置を講ずるものとする」と規定され、その措置の一つとしてエコアクション21が位置付けられています。

■優良産廃処理業者認定制度 (平成23年4月運用開始)

優良産廃処理業者認定制度は、通常の許可基準よりも厳しい基準をクリアした優良な産廃処理業者を、都道府県・政令市が審査して認定する制度です。優良認定業者として認定されるための基準は、「実績と遵法性」、「事業の透明性」、「環境配慮の取組」、「電子マニフェスト」及び「財務体質の健全性」の5項目です。これらの認証制度については「廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第九条の三第三号等」に規定されています。

「環境配慮の取組」に係る基準では、環境に配慮した事業活動を行っていることの証明として、ISO14001 又はエコアクション21若しくはこれと相互認証されている認証制度による認証を受けていることを求めています。